

平成30年度 沖縄県入退院支援連携デザイン事業  
在宅医療・介護連携に係るモデル事業<事例検討研修会>要項

一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

1. 研修名称： 在宅医療・介護連携に係るモデル事業<事例検討研修会>
2. 主催： 沖縄県  
一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会
3. 目的：  
個別課題の解決・専門職ネットワークの構築・地域課題の発見を目的に、多職種が協働し事例検討を行うことにより、支援困難事例等に関する相談・助言の充実、専門職の資質向上と支援・連携の実践力を高め、地域包括ケアシステムの構築を推進する。
4. 対象： 医療機関職員・居宅介護支援事業所職員・介護事業所職員、  
市町村職員・地域包括支援センター職員、  
社会福祉協議会職員・生活支援コーディネーター・認知症地域支援推進員、  
各専門職団体からの推薦者、医師会コーディネーター等
5. 日時： 第1回 平成31年01月07日(月) 13:30～16:30  
第2回 平成31年01月28日(月) 13:30～16:30
6. 場所： **第1回・第2回 現地会場**  
**公立久米島病院 1階会議室**  
**〒901-3121 沖縄県島尻郡久米島町嘉手苺572-3**  
**電話： 098-985-5555**  
  
**第1回・第2回 Web Live研修会場(インターネット配信)**  
**沖縄協同病院 3階講堂A**  
**〒900-8558 沖縄県那覇市古波蔵4-10-55**  
**電話： 098-853-1200(代表)**
7. 内容：  
第1回：地域と病院が協働して入退院支援連携を展開した「支援困難事例」を振り返ることにより、標準的で質の高い入退院支援連携について検討し、在宅医療と介護に係る連携に関する地域の課題を抽出する過程を共有する。  
第2回：医療計画の策定指針にある「日常の療養支援」「退院支援」「緊急時」「看取り」の4側面から地域包括ケアシステムを捉え、「入退院支援連携に関する事業の位置づけ」や目標・評価をロジックモデルを活用して学ぶ。
8. 方法：
  - ・講義・グループスタディー・ワークショップ
  - ・集合研修前、集合研修実施、集合研修後の構成とし、地域や各団体でPDCAサイクルを回せるよう体系的に実施する。
  - ・事前学習・課題の実施により、各団体等の現状や課題等を予め把握し、効率的な研修の実施と、研修後の目標設定ができるようにする。

9. 講師：第1回 講師：富樫 八郎 氏（沖縄大学 客員教授）  
日 時：平成31年01月07日（月） 13:30～16:30  
テーマ：モデル事例検討研修会～「支援困難事例」を振り返る～  
事例提供者：新垣 美鈴氏（公立久米島病院 医療ソーシャルワーカー）  
事例テーマ：「介護者不在の末期がん患者の希望と地域住民の不安のはざまで—  
「家にいたい」を叶えるために—」

第2回 講師：松本 佳子 氏（東京大学 高齢社会総合研究機構）  
日 時：平成31年01月28日（月） 13:30～16:30  
テーマ：在宅医療・介護連携におけるロジックモデルの活用例  
～「入退院支援連携」に関する事業展開を中心に～

10. 講師謝金等： 当協会規定により宿泊費・交通費・報償費を支給

11. 対象：

1) 現地久米島病院会場：

- ①久米島町役場職員・地域包括支援センター職員・生活支援コーディネーター・認知症地域支援推進員等
- ②久米島町社会福祉協議会職員
- ③公立久米島病院職員
- ④介護施設職員・居宅介護支援事業所職員・介護支援事業所職員等
- ⑤久米島町からの推薦者
- ⑥各専門職団体からの推薦者
- ⑦医師会コーディネーター
- ⑧その他主催者が推薦する者

2) Web Live研修（インターネット配信）沖縄協同病院会場：

- ①沖縄県医師会・各地区医師会：コーディネーター
- ②沖縄県歯科医師会 ③沖縄県薬剤師会
- ④沖縄県看護協会 ⑤沖縄県栄養士会
- ⑥沖縄県理学療法士会 ⑦沖縄県作業療法士会
- ⑧沖縄県言語聴覚士会 ⑨沖縄県歯科衛生士会
- ⑩沖縄県介護支援専門員協会：地域包括支援センター
- ⑪沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 ⑫沖縄県介護福祉士会
- ⑬沖縄県社会福祉士会 ⑭沖縄県精神保健福祉士会
- ⑮沖縄県認知症疾患医療センター ⑯沖縄県難病相談支援センター
- ⑰沖縄県障害者自立支援各圏域アドバイザー
- ⑱沖縄県広域連合、市町村職員 等

## 1 2. プログラム

第1回 1月7日(月)プログラム:

- 13:00~13:30 受付
- 13:30~13:40 オリエンテーション・司会 : 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会  
開会挨拶 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会  
久米島町役場 福祉課 仲地 紀男
- 13:40~13:55 「沖縄県入退院支援連携デザイン事業について」  
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 樋口美智子
- 13:55~14:00 休憩
- 14:00~14:20 事例提供 新垣 美鈴氏 (公立久米島病院 医療ソーシャルワーカー)  
「介護者不在の末期がん患者の希望と地域住民の不安のはざまで—  
「家にいたい」を叶えるために—」
- 14:20~15:10 グループスタディー ①個別の課題 ②組織の課題 ③地域の課題
- 15:10~15:30 全体共有
- 15:30~16:15 講師: 富樫 八郎 氏 (沖縄大学 客員教授)  
「支援困難事例」を振り返る~「価値」に基づいた援助について~
- 16:15~16:30 アンケート  
閉会挨拶 公立久米島病院  
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

第2回 1月28日(月)プログラム:

- 13:00~13:30 受付
- 13:30~13:40 オリエンテーション・司会 : 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会  
開会挨拶 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会  
久米島町役場
- 13:40~14:40 講師: 松本 佳子 氏 (東京大学 高齢社会総合研究機構)  
在宅医療・介護連携におけるロジックモデルの活用例  
~「入退院支援連携」に関する事業展開を中心に~
- 14:40~15:40 ワークショップ
- 15:40~16:00 全体共有
- 16:00~16:20 まとめ 講師: 松本 佳子 氏 (東京大学 高齢社会総合研究機構)
- 16:20~16:30 アンケート  
閉会挨拶 公立久米島病院  
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

1 3. 申し込み方法: 第1回・第2回を通してご参加ください。両日参加出来ない方は、代理の方の参加をお願いします。>>>第2回のみも参加も可能です。

「回答(参加者)」及び「(様式1)参加者課題確認書」を記載の上、期限(12月25日)  
>>期限(01月21日)までに FAXにてお申し込み下さい。

問い合わせ先:

那覇市立病院 総合相談センター 樋口美智子

FAX: 098-887-3599

TEL: 098-884-5111 (内線280・127)

E-mail: soudan@nch.naha.okinawa.jp